

記載例②（1 証明書を分割している場合）
【革靴の再割申請用】

2019年度分関税割当証明書使用状況表

（再割当申請用）

*受付日当日の日付

●年 ↓ ●月 ●日

申請者氏名 (名称)	フリガナ カブシカイシャ ケイザイサンギョウ				
	*証明書に記載された 法人の場合：登記された商号（会社名）、個人事業者の場合：本人の氏名+ (商号)				
申請者住所	*証明書に記載された住所				
担当者氏名	*関税割当の担当者氏名	電話番号	* 担当部門の電話番号	F A X	* 担当部門のFAX番号

*本年度中に発給を受けた全ての証明書を記載ください。

*証明書裏面の通関数量の合計 ↓

*証明書裏面の残存数量 ↓

*輸入許可通知書が添付できない等「自ら輸入」を証明できない数量 ↓ (定)

証明書番号 (*分割した証明書)	割当数量 (A)	通関数量 (B)	残数量 (A) - (B)	非該当数量(注5) (Bの内数)	返納日 *証明書を返納した年月日 ↓
2019A第100001号 (*分割後の証明書の情報を記載ください。)	1,000	200	(800)	0	●年●月●日
2019A第100001号-1/2	(500)	400	100	0	使用中 ↑
2019A第100001号-2/2	(300)	300	0	0	●年●月●日
2019A第104002号	100	100	0	0	●年●月●日
(注) 営業譲受による名義変更した証明書は記載不要です。					
計	1,100	1,000	100	0	

*受付日当日が通関日のため、証明書原本をどうしても持参できない場合は「通関中」と記載ください。

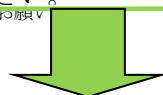
*再割当の申請書に記載した数量 ↓

今回の再割当の申請数量（申請書に記載した数量）	100 足
-------------------------	-------

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とします。
 2 ※印の欄には、何も記載しないでください。
 3 申請年度に発給された全ての証明書のデータを記載してください。
 4 「割当数量」欄には、当初の割当数量を記載してください。変更があった場合には、当初の数量の下に、当初の数量から返納数量（返納数量が複数回ある場合はそれらの数量の和）を差し引いた数量をかつこ書きで記載してください。
 5 「非該当数量」欄には、通関数量のうち、輸入許可通知書等のコピーを添付できずに通関数量等を証明できない場合、その数量を記載してください。
 6 「非該当数量」は、実績算定数量及び消化率算出の際に輸入通関数量とは、みなしません。
 (注) 審査等の結果、皮革・革靴の再割当申請書の返納を求めると等があるため、適正な使用をお願いします。

※備考

次ページに、再割当の申請に関する主な注意事項がありますので、ご覧ください。



(以下は、再割当の申請・受付の際の主な注意点ですが、この他詳細は、「関税割当公表のp.5、8等」をご確認くださいませうお願いませう。

【注1】 既に発給した証明書を返納した者又は証明書の割当数量の一部を使用していることが申請の要件です。
割当数量を未使用の場合は、申請できません。

【注2】 割当数量の一部を使用している証明書の*原本、既に証明書を返納した場合は返納確認書の*原本が必要です。

【注3】 受付日当日が通関日で証明書の*原本が提出できない場合には、その証明書(両面)の写しを提出のこと。
再割当の証明書は、提出できなかった証明書の*原本を確認した後に発給します。なお、受付日当日が通関日でないことが判明した場合は、発給できない場合がありますので、ご注意ください。